

浦和大里小コミスクだより

第1号 令和5年6月1日

昨年度から浦和大里小学校は、コミュニティ・スクール（「コミスク」と省略することもあります）となりました。コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことをいいます。「学校運営協議会」は、「地域の子どもを地域みんなで育てよう」という理念のもと、地域住民や保護者が学校運営に参画するしくみのことをいいます。



令和5年度学校運営協議会委員を紹介します

会長	萩原 章弘	青少年育成会浦和大里小地区会会長
副会長	武政 英男	鹿手袋第二自治会会長
委員	寺尾 秀夫	鹿手袋第一自治会会長
委員	石田 寿美	地域ボランティア
委員	松本 華葉	主任児童委員
委員	寺尾 但	西地区民生児童委員協議会長
委員	新藤 亘	元浦和大里小学校 PTA 会長
委員	渡辺 智和	浦和大里小学校 PTA 会長
委員	高山 俊介	内谷中学校校長
委員	茂木 明美	武蔵浦和保育園園長
委員	中野 緑	浦和大里小学校校長
委員	和久井 伸彦	浦和大里小学校教頭
委員	相場 武彦	浦和大里小地域連携コーディネーター

○これまでの経過

令和3年度 学校運営協議会準備委員会を開催

・浦和大里の子どもたちに付けたい力について話し合い

こんな意見が出ました



- コミュニケーション力はこれからの社会を生きていくうえで大切な力である。
- 他人の痛みや心遣いに気付ける、思いやりのある子に育ててほしい。
- 自分が生きる地域を誇りに思い、地域活動に参加し、地域の文化を伝承してほしい。
- コミュニティ・スクールを通して、地域と学校、保護者がしっかり結びつき、連携して子どもを育てていきたい。

令和4年度

コミュニティ・スクール 1 年目

・知・徳・体・コミュニケーション・地域を誇りに思う心をはぐくむためにそれぞれの立場で取り組んでいることについて整理

こんな意見が出ました



- 地域では、クリーン作戦、公園の花壇の手入れ、火の用心の見回りパトロールなどを行い、子どもたちにも参加してもらっている。
- チャレンジスクールの講師など、地域の人材を積極的に活用してほしい。
- 家庭では、ボランティア活動に積極的に参加する姿を子どもたちに見せることで思いやりの心をはぐくみたい。
- 家庭では、家事などに積極的に取り組ませ、自律心をはぐくんでいる。
- 様々な人と出会う場を設け、多くの人とかかわる体験をさせたい。
- 学校では、異年齢集団活動や、係活動など、役割を与えて取り組ませ、最後までやり抜く経験を大切にしている。
- 一人ひとりの学力に応じた学びができるように、タブレットを有効に活用していきたい。

令和5年度 第1回学校運営協議会

5月25日（木）、今年度の第1回学校運営協議会が開催されました。学校の運営方針についての承認と、目指す子ども像に沿って、今年度それぞれの立場でできる取組について出し合いました。

<第1回学校運営協議会で話し合われたこと>

- 「本物」を子どもたちに見せたり体験させたりしたい。
- 子どもたちが自ら発信する、発言する活動を充実させてほしい。
- 学校の様子を知らせるブログの取組がとてもよい。ホームページ上の、より目立つところに配置したほうが良い。
- 授業参観では、タブレットを活用していて、授業が変わったなと思った。タブレットの使用について、約束を決めて使わせたい。ゲーム、ユーチューブのための道具ではなく、学習のための道具としての活用を充実させたい。
- 子どもの安全のために、AEDの配置や、防犯体制をより充実させたい。